

# 小学校英語で、なぜ、なにを、どのように学ぶ・教えるのか

## 和歌山県高野町の読み書き指導を含む小学校英語の実践

小学校英語が必修化されて5年。現場で多くの取り組みが進んでいます。和歌山県高野町では2021年から、音声から文字の流れ、受信と発信のバランス、児童の記憶に定着する指導のコツなど、言語学習において妥当性のある根拠を元に指導に取り組んできました。

その結果、児童の英語力は年々確実に向上し、6年生の子どもたち全員が自分のことを話せるだけでなく、自分で初見の英語が読めるようになりました。子どもからは「前よりスラスラ言える」「英語が読める」「英語が楽しい」という感想が聞かれます。これらは、小学校英語に見られる様々な課題を踏まえ、限られた時間で最大限の学習効果が実現できるように構成したカリキュラムと、主体的にその成果を検証し指導改善を行ってきた教師の実践の成果といえます。

まだまだ道半ばではありますが、高野町の英語教育の実践と成果を共有させていただく機会を設けました。今年11月には高野町で英語教育研究発表会が予定されています。合わせてご案内申し上げます。

日程： 2024年8月11日(日) 13:00-16:30

場所： 大阪市北区曽根崎新地2-2-16 関電不動産西梅田ビル7階

大阪駅から徒歩6分・西梅田駅・北新地駅徒歩1分



対象： 教育委員会ご担当者、小学校教員（特に読み書き指導やカリキュラムにご関心のある方）

定員： 60名

費用： 無料

### プログラム

13:00-13:15

開会・高野町の取り組み概要紹介

13:15-14:00

**なぜ**

講演： 小学校の読み書き指導で大切なこと

ジョリーフォニックス トレーナー 山下桂世子

14:00-14:45

**どのように**

事例発表： 高野町の小学校6学年のカリキュラムと実践

高野山小学校外国語科主任 足立典子

15:00-15:40

**なにを**

体験： 学級担任が指導するアクティビティ

ジョリーフォニックス トレーナー 山下桂世子

ブリティッシュ・カウンシル ローラ・プラット

15:40-16:00

**サポート**

情報共有： 実現に至る条件やしくみ

ブリティッシュ・カウンシル 河合千尋

16:00-16:20

質疑応答

## 【高野町の英語教育】

「中学校卒業時に、すべての子どもが、自分のことやふるさと高野町のことを英語で話せるようになる」。高野町ではこの目標を達成するために、2021年からブリティッシュ・カウンシルと協働で英語教育事業を開始しました。日本語が母語で、英語を外国語として学ぶ子どもたちに対して、なにを、どの程度、どんな順番で、どんなタイミングで、そして誰が、英語という言語を教えるのが効果的なのかを模索してきました。小学校においては、カリキュラム・教材・指導が一体となった取り組みに、すべての学級担任が関わっています。

### なぜ

13:15-14:00



小学校の読み書き指導で大切なこと

山下桂世子

日本語とは全く異なる音のしくみを持つ英語。21世紀の新しい指導法「シンセティック・フォニックス」は、すべての子どもが英語で読み書きできる基礎を確実に育てる、非常に効果が高い取り組みです。国語と英語の指導の共通点、日本語と英語の音の認識の違い、音と文字の関係などを踏まえ、シンセティック・フォニックスを日本で取り入れる理由についてご紹介いただきます。

### どのように

14:00-14:45



高野町の小学校6学年のカリキュラムと実践

足立 典子

どの学年で、どんな内容で、どの程度学習・指導を行っているかなど、6年間のカリキュラムの概要と日々の実践についてお話しします。ターゲット文を覚えるための練習量が年々少なくなっているのは、スパイラルに取り組んだ積み重ねの成果といえます。また、国語を教える時と同じようにていねいにフォニックス学習を進めることで、子どもたちに多くの変化が生まれました。

### なにを

15:00-15:40



学級担任が指導するアクティビティ

山下桂世子 & ローラ・プラット

高野町の学級担任が実際に指導している活動を体験していただける時間です。(一部英語、以下予定)

- 聞く力を伸ばし、語彙を増やすための絵本・歌の活動
- 英語の音に対する気づきを養う音韻認識の活動
- ジョリーフォニックスで実践されている指導ステップ

### サポート

15:40-16:00



実現に至る条件やしぐみ

河合 千尋

高野町の子どもたちの学びが順調に進んでいる理由として、カリキュラム・指導法・教材・評価を一体的・体系的に扱ったことがあります。また、妥当性・信頼性のある科学的なアプローチを各方面で積極的に取り入れています。子どもたちの学習が充実するために、どんな条件整備や分担があればいいのかについて考えます。

補記：フォニックスにはいくつか種類があり、「シンセティック・フォニックス」(統合型)は、非英語圏に住む非英語話者にとっても学習しやすいため、英国政府を始め採用する国が増えています。「ジョリーフォニックス」は「シンセティック・フォニックス」の一教材です。障害がある児童生徒を含め、すべての子どもに非常に学習効果が高い実績があり、指導者に高度な英語力がなくても指導が可能という事例も多々あります。

■お申込み： 下記 URL からお申込みください。

<https://www.britishcouncil.jp/programmes/english-education/japan/consultancy/koyacho>

■お問合せ先： ブリティッシュ・カウンシル

[teachseminar@britishcouncil.or.jp](mailto:teachseminar@britishcouncil.or.jp)



## 【ご案内】 高野町英語教育研究発表会 11/19 (火)

授業公開及び研究協議を、9月竣工の新校舎で開催予定です。

詳細は7月下旬に以下のURLをご参照ください。

高野山小学校 <https://www11.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=3010006>

高野山中学校 <https://www11.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=3020003>

